

# 双友会だより

**発行**

名古屋市昭和区御器所町  
名古屋工業大学 生命・物質工学科  
生体材料プログラム内 双友会  
TEL (052)735-5270

**ホームページ**

<http://soyukai.web.nitech.ac.jp>

**編集**

双友会だより編集部

## ご挨拶

平成26年9月吉日  
双友会会長 森川 民雄 (W45)

昨年、秋の総会により会長に選出されました森川民雄です。昭和45年3月の卒業です。その4月に、豊田通商(株)に入社して、自動車又は自動車部品を造る機械設備の販売を担当として、35年勤め、退職後6年、日本貿易振興機構(JETRO)に勤め、現在は収入の有る事は特に何もしていません。

前々会長の西尾会長さんの時代に幹事長をさせて頂き、引き続き市橋前会長の折も幹事長をさせて頂きました。自分が卒業して繊維業界に勤務していないのが、気になりなかなか会長職をお引き受けする事を躊躇していました。ただ、自分より10年以上後の卒業された方を見ると、本当にいろいろな職業について居られ、そう言った方々の為にも、今迄と違う背景のものでもやらせて頂けるかと思ひ、お引き受けしました。

今迄以上に、双友会を大きくしていきたいと思ひます。その為には、会員数を増やしたいと思ひます。事務局で教えて頂いた情報ですと、総会員数は3,780人で、その内、終身会員は177人と言う事です。やはり終身会員比率が少ないですね、5%です。この終身会員比率を高め、会そのものの活動を高めて行きたいと思ひます。ちなみに、名古屋工業会では、20%台の終身会員比率を高める為に、終身会員費を大幅に引き下げました。今迄、一律、終身会員費8万円を、卒業後10年以上の方は7万円、20年以上では5万円、30年以上は4万円、40年以上は3万円、50年以上は2万円、60年以上は1万円と言った様に変更されました。我々双友会の終身会員費は3万円ですが、今の所変更は有りませんが、一時に3万円は大変なので、同一年内又は同一年度内に限り、2回又は3回の分割納入が可能になる様、事務局と打合せして行きたいと思ひます。

是非、双友会活動に、積極的に参加して下さい。皆さんで、双友会活動を盛り上げて行きましよう。

## 平成25年度 双友会総会懇親会

双友会は、平成25年10月25日(金)に名古屋工業大学大学会館において総会・懇親会を開催しました。総会(参加者15名)において、提出された24年度の事業報告・会計報告、25年度の事業予定・会計予算案について審議のうえ、満場一致で承認され、すべての議事を滞りなく終了し閉会いたしました。

総会後の懇親会は、例年にならない新入会員歓迎会と併せて開催いたしました。今回もOB 15名をはじめ、多くの方々にご参加いただき、総勢80名で開催することができました。新会長の森川民雄氏(W45)よりご挨拶をいただき、続いて、生命・物質工学科生体材料プログラム長の鈴木将人教授からプログラムの近況、大学のハード面の改革について紹介されました。その後、杉浦潔彦氏(W34)の挨拶では、精一杯努力せよとの激励の言葉を頂き、そのまま乾杯のご発声により歓談に入りました。会場では、新入会員の4年生が諸先輩と意見を交わし、今後の生き方、就職についての情報収集を行うなど終始楽しく過ごしました。最後は前会長となる市橋洋志氏(W40)より就任時の双友会運営において、会員皆様のご協力に対する感謝の意を述べられ、閉幕いたしました。



森川 民雄(W45)



平成25年度 双友会懇親会前の全体写真 @大学会館

## OB講演会

## 私の考える国際貢献と途上国との付き合い方

ミャンマーへの医療支援を通して感じたことそして今後のミャンマー



本年度は柴田敏行<sup>り</sup>氏（左写真：社会医療法人 大雄会 W55）にご講演いただいた。柴田氏は、1996年に発展途上国に医療施設の設立を目的にミャンマーとベトナムを訪問された。ベトナムへの展開は既に遅いということを実感され、ミャンマーを選択されて良好な関係を作ってこられた。その時の体験を踏まえ、学生諸君には今後の国際人として個々のあり方を考えていただきたいとの趣旨でお話を頂いた。大事な点を抜粋して柴田氏に代わり紹介させていただく。ミャンマーのキーワードとして親日国、ビルマの豎琴、軍事政権、傀儡政権、アウン・サン・スー・チー、アジアのラストフロンティアなどあげられ、ミャンマーの簡単な歴史、日本との重要な関わりを紹介頂いた。（次ページに続く）

まず、歴史ある名工大に誇りを持つよう！やはり名工大卒となる皆さんは自信と誇りを持って社会に出て活躍を。それを自覚してほしい。さて、今後の日本の製造業はどうなるのか？なぜ今アジアに進出するのか？それは単に人件費が安いからだけではなく、人口の多さ、即ちマーケットの大きさである。この様々の視点からとらえることが重要である。また国際貢献云々する際は相手の気持ちを分かたうえで臨むべき。相手国が途上国とか上から目線ではなく、『郷に入っては郷に従え』の精神で、相手の気持ち・考え方をすることが重要である。ミャンマーは親日であるように日本には好意を持っているが、それは第二次大戦中に起因することであり<sup>2)</sup>、現時点はどうなのかをしっかりと見据えるべきである。日本のミャンマーに対するスタンスとしては、テインセイン大統領の応援、日本のODA（Official Development Assistance 政府開発援助）が入るなど支援を進めている。ミャンマーは、国土が日本の約2倍、人口6千万人、天然資源（天然ガス、宝石、鉱物）、高い識字率、仏教徒が多い（南方上座部仏教）などラストフロンティアとして見過ごせない国である。しかし親日国といえども、ミャンマーはバランス感を持って国土開発を進めている。港・工業団地や空港<sup>3)</sup>、携帯電話（ノルウェー、カタール）など日本以外の国との共同開発も多い。日本がODAで援助しているというだけでは強固な協力関係を保つことに楽観視できない。中国の天然ガスパイプラインの建設（チャオピューから中国直結）やアメリカのしたたかさも忘れてはならない。アメリカは経済制裁中に二枚舌外交を展開し、ミャンマーで最大の大使館を建設、国交回復を水面下で準備<sup>4)</sup>。中国へのけん制でもあるが、これらから見えるものは、外交やODAのあり方、日本人としてどうふるまうかを自分なりに考えをもって行動しなければならないということである。ODAで橋を建設するとはどういうことか？実際、現地に橋をつくる技術がないことがあるため、日本から原料・技術を持ちこむ。従って、日本企業が潤い、現地が必ずしも潤うわけではない。他にも、日本の最新鋭の医療機器が入るのはいいが、メンテナンスがままならない（メンテナンス費用は計上されていない）など、宝の持ち腐れ状態がある。これが本当に支援なのか？よく考えて支援・行動をすべきである。

何かを感じていただけただけなのではないか。

【記 山本勝宏】

<sup>1)</sup>略歴 1980/3繊維工学科卒 80/9-81/4英国リーズ大 81/5柴田染工（株）入社 94/12退社 96/2医療法人大雄会入職

<sup>2)</sup>1943年に日本のサポートでイギリスから独立するが、それが日本の傀儡政権であった。<sup>3)</sup> 港：チャオピュー（中国）、ダウエイ（タイ）、テェワラ（日本）、空港：新ヤンゴン空港建設（韓国）、マンダレー空港整備（日本）、現ヤンゴン空港整備（中国）<sup>4)</sup> ミャンマーへの入港禁止期間にアメリカ人救出の建前で、米政府職員を合法的にミャンマーへ入国させ話をまとめる。

## ～ 会 員 寄 稿 ～

## 双友会東京支部報告（2014年6月21日）

第21回双友会東京支部懇親会が6月21日（土）12名の出席者を得て、クルーズクルーズTHE GINZAで開催されました。今年は若手会員の意向を勘案して会場を銀座に移し、土曜日の午後開催としました。

東京支部長 飯田秀郎氏の開会挨拶で始まり、役員交代に伴い名古屋工業会理事長にはM42水嶋敏夫氏、また双友会会長にはW45森川民雄氏が就任されたとの報告がありました。遅きに失した感もありますが、東京支部はこの際、W43印藤 嶺氏にバトンを渡し世代交代を図りたい旨の発言があり、出席者一同のご賛同をいただきました。

つづいて山田實先輩の力強い乾杯のご発声で懇親会がスタートし、終始なごやかに歓談の輪が広がり、宴はたけなわとなりました。倉島俊二氏より11月開催の名工会東京支部総会後に名工大大学院教授 藤 正督氏の講演会を予定していること、そして名工会では会員増強のため終身会員特別キャンペーンを実施中とのお話がありました。

今年も大阪からご出席くださいました前関西支部長 今井啓祐氏、永年インドネシアに駐在され今回初参加の與語達也氏、腹部動脈瘤の手術を体験された西口 浩氏、十数年振りに東京支部に復帰された富田禎三氏から夫々スピーチをいただき、時の経つのも忘れ盛会のうちにお開きとなり、今秋の名工会東京支部総会での再開を約し散会しました。

【記：W33卒 佐藤 誠】



当日の出席者12名  
（カッコは卒年）は  
下記のとおりです。

山田 實(23)  
早川吉郎(23)  
飯田秀郎(33)  
佐藤 誠(33)  
富田禎三(33)  
森川 勲(34)  
與語達也(36)  
西口 浩(37)  
倉島俊二(38)  
高瀬達也(38)  
今井啓祐(40)  
印藤 嶺(43)

## 平成25年度研究助成報告

双友会では、大学院や学部に在学中に学会(各種学術団体などが開催する研究成果発表会)にて研究発表を行った者に対し、「研究助成金」(一回一万円で年一回まで。ただし東海三県を除く)を贈呈しています。平成23年度は下記に示した45件の学会発表に対し研究助成金を贈呈しました。会員の皆様に謹んで御礼申し上げます。

5月	第62回高分子学会年次大会(京都)	14名	10月	CSJ化学フェスタ(東京)	2名
6月	平成25年度繊維学会年次大会(東京)	1名	11月	第52回NMR討論会(石川)	4名
9月	第60回高分子討論会(石川)	22名	12月	第23回日本MRS年次大会(神奈川)	3名

## ～ 謝 辞 ～

私は研究に取り組むにあたって重要視していることがあります。それは、何事にも全力で取り組み、積極的に新しい物事にふれることです。私は在学時、X線散乱法を用いた高分子材料の構造解析を研究テーマとしていました。精度の高い実験データを得るためには学外での出張実験が必須で、無心になるあまり夜を徹して実験することもありました。データは比較的簡便に得ることが出来ますが、その解釈にはX線の散乱現象の理解が必要で、見たこともない難解な数式やプログラムを駆使するのに大変苦労しました。しかし、新しいものに触れたいという純粋な好奇心と、学友や諸先生方の助力を頂き、高分子構造解析の面白さを感じる事が出来ました。

この度、高分子学会の第62回年次大会に参加し、口頭で研究発表する機会を頂きました。聴衆に自分の考えを解りやすく伝えるという点を意識して発表準備を行いました。他者の発表を見聞きし、発表準備の甘さや、質疑に対する柔軟な応答に力不足を痛感しました。しかし、自分自身が心血を注ぐ研究内容を他大学の先生や学生、企業の方々と共有し、様々なご指摘やアドバイスを頂くという経験は大変貴重で心地よいものでした。このような経験が出来たのは、ひとえに双友会の諸先輩方からのご支援のおかげであり、脈々と受け継がれる名工大の研究の一端を担うことが出来たことに、心より感謝申し上げます。

私は現在高分子材料を扱うメーカーに勤務し、分析業務に携わっています。在学時には扱ったことのない測定法や実験に戸惑う事も多いですが、在学時に学んだ‘何事にも全力で取り組む’という姿勢を大事にしています。これからは、双友会という一つのご縁を大切に、より一層業務に邁進することで恩返ししたいと思います。

物質工学専攻 博士前期課程2年 森 友香 (山本研究室)

## 平成25年度卒業生進路

平成25年度の卒業生の就職先を紹介します。

**大学院：**アイカ工業(株) 3名, アイシンAW (株), アイシン化工(株), アイシン精機(株), 曙ブレーキ工業(株), (株)アドヴィックス, (株)アドマテックス, (株)イーテック, (株)カネカ岡田国際特許事務所, (株)クラレ, グローバル検査, (株)小糸製作所, 小島プレス工業(株), コニカミノルタ(株), 小林製菓(株), 住友電装(株), 大日本印刷(株), 竹本油脂(株), (株)ダリヤ, 中部電力(株), 東海ゴム工業(株), 東洋ゴム工業(株), 東レ(株), トピー工業(株), トヨタ紡織(株) 3名, ナトコ(株), (株)ニデック, 日本カーバイド工業(株), ニプロ(株), 本田技研工業(株), (株)メニコン 2名, プラマック(株), 三重県庁, 三菱自動車工業(株), 三菱樹脂(株), (株)LIXIL

**学部：**(株)アドマテックス, 内浜化成(株), (株)オンダ製作所, ADED(株), (株)栗本鐵工所, コニシ(株), 小林クリエイト(株) 2名, シロキ工業(株), 高砂電気工業(株), (株)中電シーティーアイ, 東海サーモ(株), トヨタ自動車(株), (株)トヨタプロダクションエンジニアリング, (株)ニデック, 林テレンプ(株)

**大学院進学:** 本学 (39名)、他大学 (京都大、マンチェスター大)

## 平成25年度寄付者

双友会の運営の為に、ご寄付をお寄せいただき、心から感謝致します。感謝の意を込めまして、ご芳名をここに掲載させていただきます。(順不同、敬称略)

米沢 敦(W20), 橋本 稔(W22), 竹村 皎(W29), 杉浦潔彦(W34), 丸地孝男(W34), 森川 勲(W34)  
井塚淑夫(W38), 森川民雄(W45), 朝倉睦美(W55), 中村武司(W58), 伊串英基(Wh1)

## 事務局だより

- 住所等の誤り、変更がございましたら下記双友会本部事務局までご連絡ください。
- 会員のご名誉・各受賞に関し、ご存じでしたら事務局までご一報ください。
- 双友会だよりの寄稿文を募集しておりますので、事務局までご送付ください。
- 名古屋工業会では会員の増強を行っております。工業会に未加入の方はこの機会に是非ご加入頂きますようお願い申し上げます。

## 会費納入・寄附のお願い

**双友会の運営は会員諸兄姉の年会費(2,000円)にかかっています。**

昨今は赤字傾向であり、このうちの大半は年会費の減収分であります。このままでは数年後には財源が枯渇してしまいかねない深刻な状況です。本双友会の円滑な運営の為にどうか会費を納めてくださるよう、会員諸兄姉のご理解とご協力をお願いします。なお、寄付の申し込みを受け付けています(一口5,000円から)。会誌またはホームページでご芳名を掲載させていただきます。

個人年会費などのご納入は、①銀行振込、または②郵便振込でお願いします。

個人年会費(2,000円)、終身会費(30,000円)を以下の①あるいは②の方法でご送金をお願いします。

① 銀行振込の場合：下の口座(双友会会費用)に振り込んでください。

三井住友銀行・上前津支店・普通口座

(店番号) 482 (口座番号) 6309868 (登録名) 双友会

② 郵便振込の場合：同封の振込用紙(会費納入と兼用)をご利用ください。

## 終身会員制度のご案内

終身会員として30,000円を納入されますと以後の会費は免除される制度です。

平成26年3月までに終身会員(177名)の方は次の通りです。(敬称略)

**学年別終身会員数** (W: 昭和卒, Wh: 平成卒, 括弧内は人数) W12(1), W13(2), W25(1), W26(1), W28(1), W29(5), W30(1), W31(4), W32(4), W33(6), W34(9), W35(5), W37(8), W38(5), W39(8), W40(10), W41(2), W42(3), W43(2), W44(2), W45(7), W46(4), W47(2), W48(5), W51(6), W52(2), W53(1), W54(2), W55(6), W56(4), W57(2), W58(3), W59(1), W60(1), W61(1), W62(2), W63(1), Wh1(3), Wh2(3), Wh3(4), Wh4(2), Wh5(5), Wh6(2), Wh7(2), Wh8(1), Wh11(1), Wh10(5), Wh12(3), Wh13(5), Wh14(1), Wh16(2), Wh18(2), Wh19(1), Wh21(1), Wh22(1), Wh24(1)

**終身会員** 田中鉄三郎, 加藤武, 山口武雄, 富田義晴, 鶴飼精, 今枝勉, 太田鑑吾, 柏木鉄雄, 鈴木重夫, 竹村皎, 長谷川準三, 安藤保, 木村常男, 須加井喬, 松岡八郎, 鷺田一雄, 井田武彦, 今井博, 玉田欽也, 瀧澤直人, 伊藤晃, 片岡忠明, 川口文夫, 日比宣夫, 福田竺, 宮本浩二, 奥村巳善, 兼松勇夫, 下山幸重, 杉浦潔彦, 長崎義一, 丸地孝男, 宮崎幹士, 箕浦静, 森川勲, 氏原義文, 酒井麓郎, 山口儀康, 横地邦廣, 蜂須賀辰雄, 青山實, 赤塚正明, 伊藤周雄, 芝崎暢彦, 西尾弘之, 西川尚武, 堀紀久雄, 水谷忠正, 井塚淑夫, 高橋信行, 中村勤, 丹羽信男, 長谷川隆男, 牧紀久夫, 伊藤弘, 神谷昇, 桑原宏吉, 柴田富造, 城山義見, 高橋英生, 高橋正清, 浜島徳充, 市橋洋志, 今井啓裕, 北村公英, 後藤共子, 近藤高可, 谷憲治, 田村広志, 恒川昭夫, 長島徹, 西川宣昭, 永坂友康, 西澤郁朗, 酒井敏彦, 椿泰広, 長江正純, 印藤矯, 奥山晋三, 牧野昭二, 泉地正章, 伊藤哲夫, 小坂寧, 加藤喬士, 児玉孝次, 谷岡明彦, 水野和博, 森川民雄, 齊藤秀夫, 所義勝, 山中一, 山本恒男, 森田健次, 今井貞幸, 浅井幹夫, 稲波弘明, 佐藤紀夫, 白木雅雄, 棚瀬裕明, 亀岡直樹, 三宅宣幸, 足立哲士, 采誠次, 矢部敏之, 磯本恒之, 加納章, 朝倉睦美, 廣田英幸, 嵯峨久直, 小谷一郎, 三上鉄也, 水野喜仁, 伊藤聰, 立川満, 玉置達夫, 榊原啓介, 松村秀司, 山田基美子, 吉木満, 荒川みはる, 花井陽一, 伊藤健一郎, 杉村貴代, 鈴木司朗, 木村敦志, 松野一郎, 牧野博文, 小野晃, 山本武志, 山本哲也, 永田寛知, 高木登, 武居正和, 青木知明, 片岡真理, 小塚佳明, 植手貴夫, 大谷誠一郎, 濱口尚久, 松田淳二, 安田正弘, 鹿糠悟, 佐藤嘉洋, 高木幸治, 冬頭美乃, 光橋裕之, 鈴木晃, 林修二郎, 山本勝宏, 木野喜隆, 長坂直紀, 土井智清, 佐藤佳治, 岡恭子, 原滋郎, 井上慎一郎, 黒川裕司, 大室幸絵, 藤川誠二, 中村賢一, 辻隆幸, 水口良, 小森久敏, 杉野裕介, 竹内孝行, 中井祐介, 藤澤佳右, 堀部峰雄, 森下豪人, 久保田篤優, 伴亜瑛美, 角谷信裕, 坂本悠, 杉浦宜匡, 山門陵平, 林拓希, 秋濱秀宜

記載漏れがございましたら事務局までご連絡下さい。

## 平成26年度『双友会総会・懇親会』のご案内

今年度の「双友会総会・懇親会」を下記の要領にて開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。参加希望の方は、枠内必要事項明記の上、FAX：052-735-5277、E-mail：yamamoto.katsuhiro@me.nitech.ac.jp、または郵送で双友会本部事務局（山本勝宏）までご連絡願います。※大学会館の耐震改修工事も終わり、新しくなった大学会館を是非ご覧下さい。

会場 総会、懇親会：名古屋工業大学 大学会館（生協）  
 日時 平成26年11月7日（金）  
 17：00～17：50 総会（生協1階 大食堂）  
 18：00～19：30 懇親会（生協1階 大食堂）  
 会費 5,000円（当日徴収）

平成26年度 双友会総会、懇親会 参加申込書  
 総会 参加 ・ 不参加 / 懇親会 参加 ・ 不参加

ご氏名： \_\_\_\_\_ ご卒業年度： \_\_\_\_\_

ご住所：〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

法人でご参加の方は下記にもご記入お願いいたします。

貴社名(部署名)： \_\_\_\_\_

ご住所：〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_

## 連 絡 先

## ◇本部

会長 森川 民雄(W45)	_____	_____	_____
幹事長 吉木 満 (W56)	_____	_____	_____

## ◇関西支部（大阪支部より名称変更）

支部長 長江 正純(W43)	_____	_____	_____
幹事長 小山 征治(W42)	_____	_____	_____

## ◇東京支部

支部長 印藤 矯 (W43) (幹事長兼任)	_____	_____	_____
---------------------------	-------	-------	-------

## ◇東海支部

支部長 泉地 正章(W44)	_____	_____	_____
幹事長 吉木 満 (W56)	_____	_____	_____

## ◇双友会本部事務局

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・物質工学科 生体材料プログラム

☎ 052-735-5264（高木幸治 Wh5） 052-735-5277（山本勝宏 Wh6） 052-735-5270（杉本英樹 Wh6）

教員連絡先は生命・物質工学科HPをご覧ください <http://www.me.nitech.ac.jp/staff/staff-seitai.html>